



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,449	9.3	408	194.4	442	159.8	290	199.1
2023年3月期第2四半期	10,475	0.2	138	49.2	170	38.9	97	45.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 283百万円 (750.4%) 2023年3月期第2四半期 33百万円 (85.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	336.57	
2023年3月期第2四半期	112.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,428	9,228	50.1
2023年3月期	19,207	8,997	46.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,228百万円 2023年3月期 8,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				60.00	60.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	0.1	1,060	6.2	1,060	3.0	660	5.6	763.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	865,301 株	2023年3月期	865,301 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,164 株	2023年3月期	1,098 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	864,179 株	2023年3月期2Q	864,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2023年5月に5類に移行したことに伴い、経済社会活動の正常化が加速し、人流の増加やインバウンド需要の回復等、景気は緩やかな回復が見られましたが、原材料や物価の高騰に加え、ウクライナ情勢の長期化による経済への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、欧米諸国での金融引き締め政策や中国経済の先行き等を背景とする経済の減速懸念もあり、今後の動向を注視していく必要があります。

I C T業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたD X（デジタルトランスフォーメーション）への期待や需要は継続しており、I o T（モノのインターネット）やA I（人工知能）などのデジタル技術の進化とともに、システムの更新、クラウドサービスやセキュリティ対策需要には底堅さがあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが続きました。

このような経営環境のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、サーバなどの情報通信機器、システムエンジニアリングサービス、電子デバイスなどが増収となったことから、売上高は114億49百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

損益面につきましては、売上高が増加したことに加えシステムエンジニアリングサービスの採算性向上などで原価率が改善したことにより、営業利益4億8百万円（前年同期比194.4%増）、経常利益4億42百万円（前年同期比159.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益2億90百万円（前年同期比199.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、ヘルスケア機器の組込み用のサーバ・パソコンや大口ユーザーの需要増加により、情報通信機器が増収となり、システムエンジニアリングサービスおよび電子デバイスも増収となったことから、売上高は66億95百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とシステムエンジニアリングサービスの採算性の向上や原価率の低減により、営業利益は2億99百万円（前年同期比229.4%増）となりました。

「東日本」は、前年同期に大きく増加した文教向け商談の減少や民需商談の遅れなどにより、情報通信機器が減収となったことから、売上高は23億20百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

損益面につきましては、システムエンジニアリングサービスの採算性の向上や原価率および販売費の低減により、営業利益は1億19百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

「西日本」は、医療・自治体向け商談や民需の増加により、情報通信機器、システムエンジニアリングサービスおよび電子デバイスなどが増収となったことから、売上高は24億2百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は1億22百万円（前年同期比89.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億79百万円減少し、184億28百万円となりました。この主な要因は、商品が8億40百万円、現金及び預金が6億27百万円、仕掛品が1億1百万円増加する一方、受取手形及び売掛金が22億98百万円、電子記録債権が70百万円減少するなど、流動資産が7億59百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、10億10百万円減少し、92億円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2億97百万円、未払法人税等が2億70百万円減少するなど、流動負債が7億23百万円減少したことに加え、長期借入金が2億50百万円減少するなど、固定負債が2億86百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億30百万円増加し、92億28百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が2億39百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、6億27百万円増加し、81億39百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、9億42百万円（前年同期比9億20百万円増）となりました。その主な要因は、棚卸資産の増加額9億42百万円、仕入債務の減少額2億98百万円、法人税等の支払額3億99百万円、未払消費税等の減少額1億99百万円などによる資金の減少があった一方、税金等調整前四半期純利益4億42百万円、売上債権の減少額23億70百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、19百万円（前年同期は35百万円の減少）となりました。その主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入10百万円による資金の増加があった一方、有形固定資産の取得による支出15百万円、資産除去債務の履行による支出10百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、3億2百万円（前年同期は2億43百万円の減少）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入3億円による資金の増加があった一方、長期借入金の返済による支出5億50百万円、配当金の支払額51百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、業績は概ね予想どおりに推移しており、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,511,497	8,139,359
受取手形及び売掛金	7,653,299	5,354,530
電子記録債権	465,334	394,352
商品	940,305	1,780,467
仕掛品	61,115	162,982
その他	213,624	253,481
貸倒引当金	△979	△969
流動資産合計	16,844,195	16,084,204
固定資産		
有形固定資産	1,005,983	998,744
無形固定資産	27,998	26,639
投資その他の資産		
投資有価証券	428,143	451,044
敷金及び保証金	451,296	441,484
繰延税金資産	388,752	366,858
その他	67,991	66,044
貸倒引当金	△6,834	△6,692
投資その他の資産合計	1,329,348	1,318,739
固定資産合計	2,363,330	2,344,122
資産合計	19,207,526	18,428,327
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,600,781	3,303,057
短期借入金	1,130,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
未払法人税等	446,552	175,934
賞与引当金	301,900	292,100
役員賞与引当金	15,500	—
受注損失引当金	1,420	5,886
その他	1,068,737	934,596
流動負債合計	7,264,891	6,541,576
固定負債		
長期借入金	1,800,000	1,550,000
役員退職慰労引当金	81,315	60,643
退職給付に係る負債	1,003,048	989,072
資産除去債務	61,017	58,932
固定負債合計	2,945,381	2,658,648
負債合計	10,210,273	9,200,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	4,222,560	4,461,569
自己株式	△3,897	△4,248
株主資本合計	8,871,281	9,109,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,461	202,524
為替換算調整勘定	△61,489	△84,360
その他の包括利益累計額合計	125,972	118,164
純資産合計	8,997,253	9,228,102
負債純資産合計	19,207,526	18,428,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,475,453	11,449,752
売上原価	8,672,881	9,329,734
売上総利益	1,802,571	2,120,018
販売費及び一般管理費	1,663,722	1,711,263
営業利益	138,848	408,754
営業外収益		
受取配当金	6,315	5,426
為替差益	21,036	30,204
その他	15,120	10,278
営業外収益合計	42,472	45,909
営業外費用		
支払利息	10,375	11,746
その他	716	655
営業外費用合計	11,092	12,401
経常利益	170,229	442,261
税金等調整前四半期純利益	170,229	442,261
法人税、住民税及び事業税	52,360	136,180
法人税等調整額	20,615	15,221
法人税等合計	72,976	151,401
四半期純利益	97,253	290,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,253	290,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	97,253	290,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,400	15,063
為替換算調整勘定	△28,566	△22,871
その他の包括利益合計	△63,967	△7,807
四半期包括利益	33,286	283,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,286	283,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	170,229	442,261
減価償却費	28,644	25,816
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	181	△153
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,000	△9,800
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,250	△15,500
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	4,466
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△20,672
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,914	△13,976
受取利息及び受取配当金	△6,658	△5,820
支払利息	10,375	11,746
売上債権の増減額 (△は増加)	1,530,339	2,370,199
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,618	△942,016
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,429,181	△298,184
未払消費税等の増減額 (△は減少)	66,086	△199,079
その他	△88,076	△1,140
小計	216,156	1,348,147
利息及び配当金の受取額	6,283	5,106
利息の支払額	△10,684	△11,116
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△189,125	△399,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,629	942,913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,080	△1,080
有形固定資産の取得による支出	△18,187	△15,862
ソフトウェアの取得による支出	△222	△1,418
資産除去債務の履行による支出	△958	△10,930
敷金及び保証金の差入による支出	△15,400	△596
敷金及び保証金の回収による収入	1,277	10,448
その他	△756	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,327	△19,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△550,000
自己株式の純増減額 (△は増加)	△592	△351
配当金の支払額	△43,214	△51,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△243,807	△302,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,132	6,590
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238,373	627,861
現金及び現金同等物の期首残高	7,658,030	7,511,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,419,656	8,139,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,689,282	2,933,776	1,811,138	10,434,198	41,255	10,475,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,821	—	—	1,821	75,661	77,482
計	5,691,104	2,933,776	1,811,138	10,436,019	116,916	10,552,936
セグメント利益又は損失(△)	90,829	115,093	64,702	270,625	△17,070	253,554

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	270,625
「その他」の区分の損失(△)	△17,070
セグメント間取引消去	517
全社費用(注)	△115,223
四半期連結損益計算書の営業利益	138,848

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,695,255	2,320,089	2,402,804	11,418,148	31,603	11,449,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	38,745	38,745
計	6,695,255	2,320,089	2,402,804	11,418,148	70,349	11,488,498
セグメント利益又は損失 (△)	299,178	119,392	122,496	541,068	△23,486	517,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	541,068
「その他」の区分の損失 (△)	△23,486
セグメント間取引消去	214
全社費用 (注)	△109,041
四半期連結損益計算書の営業利益	408,754

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。